

Freude

vol. 11-8 2018. 4. 25.wed

ふるわいとこ

自分のもの

大阪フロイデ合唱団 Tel 06-6358-2626
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-1-18-4B
ホームページ <http://www.osakafreude.com>
メールアドレス info@osakafreude.com

2018.04.18 総習2-18

今月2-18と3-2 おさらしちゃいたよ。
つまり

K257 → さしょから Credo キビ。

K337 → さしょから Gloria キビ (Credoの中向かう見ほ)
(さしょからみ、さしょからみ、さしょからみ)

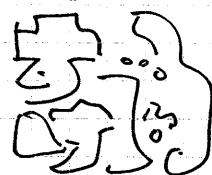
K257の注意? } Credo

①テ-ルの付はさん。 [130] ~ [158] (中向かうみ、さしょからみ、さしょからみ)

ここは テ-ルT=17 他ハ-トと遙かに離れて3拍子。
 9タ-2-3よ、か-ニ-1-2-3よ! (4拍子 [41])

②バスの付はさん [147] [167] × 3拍目、バスT=17 リード・ストカートか
 ありす、ここモーツアルトの意図! 意識してね!

♪男声のみはさん? 「分かれて練習」でうたえている! か
 全体練習で「オヤオヤ! ?」と云うのは、イロイロ
 理由があるとは思ひません。(单におさらしが足りない?) その
 ひとつとして、「主旋律のソロラインにつらひる」があるかも。(女声練習では
 アルトは常にソロラインつらひてないよう練習しません) 言葉詮みや
 あるT=18でもT=17つかれてみるが、男声のみはさんではT=18
 練習CD(これは全体の音楽も入っている)で主旋律も感じながら自分
 音を確認する自習をするなど、「つらひてない」ために2種類!!



| 5/2 (水) | 5/9 (水) | 5/16 (水) | 5/20 (日) |
|---------|---------|----------|----------|
| 18:30~ | 18:30~ | 18:30~ | 13:15~ |
| アリエジア | アリエジア | アリエジア | 此花アリエ |

分かれて練習 T=8 ~

えち あん
「越後の餡こ」にならないために！

ここ数年ず~っと注意されている発音「t i」と「s i」（t i は、言葉によってティとツイがあるけど、ツイのほう）。ど~しても、チヤシヤジになりがちで、怒られない日はない～！早くこれを脱出しないと、どうしてもここが気になって、練習が止まっちゃう！…で、チョイ真剣に分析してみました！その結果ワタシ、コツをつかんだかも！

1) 「ち」「し」「じ」のほうが言いやすい。言いやすいから言っちゃう！

「t i」「s i」は「ツイ、スイ、ズイ」と知っていてもクチが言いやすいほうに行っちゃう。

楽譜にいくら「要注意のシルシ」をつけてても、悪気はないのにクチが「ちしじ」になる！自分では気をつけて「言ってるつもり」なので、自分が違ってることに気付かない！

2) 「ち」「し」「じ」と「t i ツイ」「s i スイ」「s i ズイ」、クチの違いはなんだ！？

唇やアゴの位置を変えずに、クチの中を観察しつつ、それぞれ言ってみた。すると、息の通り道が違う！

「ち」「し」「じ」は、歯の左右の端っここのほうを息が通る！

「ツイ」「スイ」「ズイ」は、歯の真ん中のへんを息が通る！

でも、単独発音では、言いやすい、とか、言いにくい、とかはあまり変わらない。

3) コトバの中で言ってみると、、、おおっ！「ち」「し」「じ」がラクチンなんや！

クレドの中間部で出てきた「e t _ i a n」で、ためしてみると、、、「えち」はすごいラクチン！「え」から無防備にクチ閉じ気味にするだけで「えち」。「えツイ」はエネルギー要！「え」から「ツイ」にするのに、息を歯の真ん中へんに通すには、歯や舌を真ん中に寄せて息をまとめないと、「ツイ」にならない！

グロリアなどで出てくる「excelsis」も「し」のほうがラクで「スイ」はエネルギー要！

4) 思わぬ落とし穴！ チカラを入れ過ぎると、「s i」が「t i」になっちゃう！？

息を歯の真ん中に集めて言う練習してたらあれ？スイを言ってたのにツイになってる！？チカラ入れすぎの結果、舌が上歯にくつついたり上下の歯が噛み合わさったりして、s i にしては、息の通り道が狭くなつたのが原因のよう。よく見ると、「t i ツイ」は舌が上の歯ウラにくついて息の通り道が狭い。一方、「s i スイ、ズイ」は、息が歯や舌をこすりながら通るだけの空きが必要で、舌や歯を離しておかないと、「t i ツイ」になっちゃう！そう言えば、「uns」等、s の前に n の綴りが来る時、s はつっぽく発音と教わったけど、それは「n」で舌が上の歯ウラにくつく続きて「s」に移るので、発音の自然の流れで息の通り道が狭くなつて「ツ」になるってことなんだなあ、と納得！

以上をふまえて、こないだから覚悟を決めて「t i や s i は、息の通り道を真ん中に！」と意識してやってみると、けっこうイケルことを発見。慣れてくると、うっかり息が端っこを通ると自分でも「しまった！」と思えるように、自分で間違つてることがわかるようになった！

みなさんどうでしょか？上記読んだだけでは、理屈っぽいだけでピンと来ないよね。人によって違うこともあるし。。。なので、ぜひ！それぞれがご自身で試してみて、コツをつかんでみてみて！

ひひしてみ